



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA - CENTENNIAL

c/o YMCA INTERNATIONAL PROGRAM CENTER
 Dojima Grand Bldg., 1-5-17
 Dojima Kita-ku Osaka 530 JAPAN
 PHONE (06)344-1717

FEBRUARY 1992. vol. 8
 The Service Club to the YMCA
 Chartered September 25, 1982

MOTTO (1991~1992)

I P Y's Men and Y's Menettes ... Let's Give ...
 ワイズメン・ワイズメネットの皆さん ... ささげよう今こそ ...

A P Help unfortunate neighbors with love by leading frugal life.
 つましい暮らしから 今こそ愛の手を

R D Let's Give Dedication to YMCA. 今こそ Y M C A に 献 身 を

D G , C P 『 楽 し も う ! ワ イ ズ の 義 務 を 』

月間強調テーマ : 『 C S ・ T O F 』

--今月の聖句-- 田中穰二君撰

もし、だれかが、あなたをしいて1マイルを行かせようとするなら、その人と共に2マイル行きなさい。
 (マタイによる福音書：第5章第41節)

--- 聖句角解説 ---

ローマ時代、軍隊が村を通過する時には、強制的に村人に自分の荷物を背負わせて、一定の距離を行かせても良い事になっていた。イエスの教えた『2マイル行け』という意味は、「1マイル行け」と言われて、1マイルだけ行くのは、強制された分だけ果たすのに過ぎないが、更に1マイル行こうと一歩踏みだすならその一歩は奉仕の一歩だという事である。

田中穰二

-- OUR MOTTO --

" To acknowledge the duty
 that accompanies every right "

強い義務感を持つよう。
 義務はすべての権利に伴う。

--- 2月第1例会 ---

日時 1992年2月19日(水) 6:30~8:30 p.m.

会場 Y M C A 国際社会奉仕センター

司会 : 松尾明君

1. 開 会 点 鐘 : 堀利満会長
2. ワイズソング : 一 同
3. 聖 句 朗 読 : 三浦直之君
4. ゲ ス ト 紹 介 : 堀 会 長
5. 卓 話 : C S ・ T O F について
 : 杉浦真喜子君
6. ク ラ ブ 総 会 : 一 同
 (新 役 員 選 出)
7. 3 分 間 ス ピ ー チ : 竹 廣 稔 君
 矢部憲樹君 & 秋月利英君
8. お 誕 生 お 祝 い : 一 同
9. ニ コ ニ コ 献 金 : ド ラ イ バ ー
10. 委 員 会 ・ 役 員 会 報 告 & Y M C A ニ ュ ー ス
11. 閉 会 点 鐘 : 堀 会 長

Happy Birthday to following people

2月お誕生の方々

足立君: 3日 * 竹廣メネット: 4日
 川越君: 8日 * 福永メネット: 16日
 田中メネット: 19日 * 松尾君: 19日
 河野メネット: 24日 *

† 今月の例会当番 = 第 一 王 冠 準備・後片付け等宜しく
 金子君・中村君・真嶋君・松尾君・三浦君

日本区CS事業の中心的活動の一つであるタイム・オブ・ファースト(TOF)については、日本区から募金のドライブはかかりますが、集められた資金の用途についての報告が余りありません。用途を解って頂くためと、併せて国際TOF事業をご理解頂くために、ご一読頂ければ幸甚です。 谷川 寛

--- 日本区報より ---
アジアで生かされている

“タイム・オブ・ファースト”

世界のワイズメンが、2月の例会の食事代を捧げることを中心に進められているTOF資金がどのような活動に使われているのかご存じですか？

91年3月、タイのバンコックで第13回YMCA指導者会議がありました。この席で、アジアYMCA同盟フィリップ・コック会長、タン・チキオン総主事から、1988~90におけるアジアYMCA活動の中で、国際ワイズメンの支援、殊にTOF資金による支援が多大の貢献をしたとして、感謝のしるしの盾が国際ワイズに贈られました。この席にアジアYMCA同盟委員として出席していた私が、国際ワイズを代表してこの盾を受ける光栄に浴しました。

TOFの事業が始まってから18年になりますが、今迄に世界のワイズメンから集められたお金は米ドルにして110万ドル以上になります。現在のテーマ“世界の恵まれない子供たち”になってから既に6年になります。この集められたお金は、今は主として世界各地の地域YMCAを経由して、子供たちを対象とした各地YMCAプロジェクトに使われています。

アジアでは、アジアYMCA同盟(在香港)がその責任を担い、この同盟には20カ国のYMCA(印度豪州、NZを含む)が所属しています。アジア同盟独自の開発資金AYDFに加えてワイズのTOF資金が、インドタミール難民、フィリピン、ミャンマー、バングラディッシュ等々の子供達への事業に、1985~90年の間には15以上ものプロジェクトに使われ、総額\$135,000以上に上りました。91~2年度はTOF事業のテーマ・力点共に変わっていますが、世界中に広がるSOCIAL INJUSTICE(社会の不正)に対しての戦いを進めるYMCAの支援に使われることに変わりなく、今後もワイズのTOF資金がアジアYMCAの活動の大きな支えとなることでしょう。

CS・TOFの担当から

愛をこめて ---お知らせとお願い---

我がセンテニアルの皆様、今月の強調テーマは勿論ご存じですね！ そう「CS・TOF」です。CS=Community Serviceの意味。会員名簿の後部にある「ワイズ用語抜粋」のCSの項を見ると「…CSとは大は地球社会の、小は近隣社会の隣人への心を込めた奉仕活動…」と書かれています。

その中の大きな、然も国際単位の事業としてTOF=Time of Fast(断食の時)があります。要するにお食事を抜いて、或いは少し削って、その分を世界の飢えに苦しむ人々に捧げようと言うものです。

我がクラブでは、毎年この月(2月)の第1例会の夕食は‘抜き’です。少々空腹を覚えながら、世界の友のことを考えるのもY'sらしくて良いですね！

でもたった一回の例会で空腹を感じるだけでなく、もう少しそんな機会を増やしてみても良いのでは？

それもお家で、ご家族皆で。それが「ファミリー・ファースト」です。‘一食抜き’とまではいなくても、おかず一つ減らしてその分お金を貯めてみる。お子さん達とそんなことを話し合いながらやったら、それもまた楽しいのではないのでしょうか？是非今月或は来月、あなたのお宅でやってみて下さい。またリーストコイン(一円玉などの単位の小さい硬貨)を貯めてみるのも良い方法ですね。額の多少は問題ではありません(多いに越したことはありませんが…)みなで心を込めて、実際にやってみることが大切だしY'sらしいところ。もっと大切なのは、その成果を例会に持参して頂くこと。そしてCS係(杉浦です)にお渡し下さること。あなたの“こころ”をお待ちしています。

そうそう、もう一つお待ちしているものがあります。

お年玉付年賀はがき(切手)の4・5等当選賞品の切手シートです。これはCS Fund=「日本のワイズメンの貢献によって、アジアのワイズメンとの交流協力に役立てられてきた資金」の資金源になります。

1月15日が当選発表でしたが、まだ当選を調べていない方は、是非お調べになって当選していたら郵便局で切手シートを買ってご持参下さい。既に1月第1例会で12名の方から頂戴しましたが、まだまだ間に合います!! 貴方の“こころ”をお待ちしています。

メネット会報告

福永 滋子

92年1月14日3時過ぎから、日本語学校の授業の終わったロビーで、大勢のお友達に囲まれて11人の留学生の方々の成人式が行われました。

メネット7人が参加して、先生、職員、メネット会のサイン入り色紙とお祝いの品を、メネットが交代で留学生新成人の方一人一人に、心を込めてお渡し致しました。これを日本で20才を迎えたよき思い出として、これからも希望と夢を持って、力強く歩んで頂きたいと心から願いました。(下は式後の写真)



成人式に先立ち、1時から‘自立平和’でお食事を頂きながらメネット会の会合を持ちました。

黒田、佐藤、隅田、谷川、平田、森、山村、福永の8名が出席。

*5月9日の中西部合同メネット会について相談。

*長崎クラブから要請され、当メネット会が協力した普賢岳避難家族の子供達へのクリスマスプレゼントの山中様(前日本区メネット事業主任)からの御礼報告

*衣類販売申し込み・・・等々

時間不足で慌ただしい中、心楽しいお交わりの一時を過ごさせて頂きました。

次のメネット会は3月の予定です。



1月例会

卓話「私の故郷を語る」に参加して

矢部 憲樹

1月の卓話は大阪YMCA日本語学校で学んでいる女子留学生を囲んでの一時を過ごしました。出席して下さったのは、台湾・台北からの謝意如さん、タイ・バンコックのスピンダーブンヤコンチャアイさんと中国・北京からの丁宜さんの3人です。岸川眞二君の司会で各々の故郷や、お国の事情などを話して頂きました。最初のうちは、岸川君が「学校ではもっと活発なんですがね」と言われる程緊張していましたが時間が経つにつれて雰囲気にも慣れ、質問に対する答にも本音が飛び出したり、予定の時間をオーバーする程熱心に語ってくれました。皆さん、まだ日本に来てから9か月～2年と日が浅いにも拘らず、日本語を上手に使うて応答されるのには驚かされました。

スピンダーさんは日本語の漢字に悩まされている様子でしたが、一生懸命勉強して、帰国後は日本語を使う会社で働きたいと言いながらも(これは他の二人も同じ)出来れば日本で働きたいと・・・夫々自分の故郷や国に愛着を持ちながらも、言葉の端々に日本の豊かさや便利さへの憧れを感じとれ、ついこの前まで日本の若者が、米国に感じていたのと同じ気持ちを、アジアの若い人たちが抱えていることに、改めて戦後日本の発展と豊かさを、又同時にこのような若い人達の日本での日常生活の印象が、日本全体のイメージにつながることを実感しました。

例会終了後帰り際に、自習室で勉強していた謝さんが私に気づいて、ニッコリ笑って手を振ってくれましたが、その爽やかな笑顔が印象的でした。

--- 1月BF報告 ---

切手提供者 *足立君* 岸川君
黒田君*上月君*佐藤君*柴田君
杉浦君*鈴木君*谷川君*津田葉君
平田君*福永君*森メネット*山田君
山村君*湯浅君*秋月君

本	切手料外	3,822 pts.	累	切手料外	22,005 pts.
月	現金料外	0 pt.	計	現金料外	5,290 pts.

--- 1 月度役員会便り ---

- ①3月第1例会
 *当番=第2班(足立、鈴木、杉浦、千柄、山田)
 *司会=千柄信恵君 *聖句朗読=鈴木謙介君
 *卓話=L T (Leadership Training) を楽しむ日
 Y'sの理想、目的、憲法等の勉強をクイズ形式で楽しく・・・
 担当=黒田厳之君、鈴木謙介君、田中穰二君
- ②4月第1例会(メネット・ナイト)
 *卓話候補=土佐堀ク・長尾メネット [裁判所通訳]
 (福永嘉彦君からお願いして貰う)
- ③次期三役について
 選考委員会(堀会長)案が確認され、2月第1例会時に開催される“総会”に諮られることになりました。
- ④十周年記念委員会より報告
 *とき=11月7日(土) 15:00~17:00
 *場所=天保山・海遊館内 レストラン・サイレン
 *会費=5,000円の予定
 記念品、記念誌について相談結果の報告あり。
 次回委員会は3月11日(水) 18:30 堂島YMCAにて開催の予定。なお、記念誌分科会(黒田分科会長)は2月5日(水) 14:00 堂島YMCAにて打合わせ。
- ⑤次期中西部IBC事業主査に佐藤勝雄君が推薦され、了承されました。
- ⑥6月13日(土)第47回日本区大会について
 センテナルの宿泊は、新宿ワシントン・ホテルに纏めることになりました。ご出席の方は、直接又は近ツリに早目にご手配願います。
- ⑦7月29日~8月1日の世界大会(ワグイ・オ知)について
 JTB、近ツリからオプションを含めて案内が来ています。ご希望の方は堀会長又は山田孝彦君に連絡願います。資料をお渡しします。
- ⑧中西部合同メネット会
 山村メネット(中西部メネット事業主査)から案内と参加要請がありました。
 とき=5月9日(土) 11:00 ~ 14:00
 場所=千里・万博公園内「オオサカ・サンパレス」
- ⑨ET=5月頃、1泊の研修(特別例会)を実施する事とし、その計画を上月英子君、福永嘉彦君に願う事になりました。5/30(土)31(日)
- ⑩佐藤会計から中間決算が報告され、了承されました。

--- 1 月出席状況 ---

第1例会出席会員=19名,メネット=5名
 ゲスト=2名
 第2例会出席会員=13名,(内MU=4名)
 メネット=1名
 ※出席率=66%(前月=66%) 会員数=35名

--- クラブ・ソング ---

Once more we stand, new zeal our hearts imbuing,
 We raise our hand, our service pledge renewing,
 Ne'er to deny our motto's claim,
 Y's Men in fact as well as name,
 Always our objects to pursue,
 We consecrate ourselves anew.

うたえば ころろひとつに

ともがき ひろがりゆきて

とおきも ちかきもみな

ささげて 立つやワイズメン

さかえと ほまれゆたか

まことは 胸にあふれん

--- 2 月第2例会(兼役員会) ---

日時:1992年2月26日(水) 6:30 ~8:30 p.m

会場:YMCA国際社会奉仕センター

『クラブ』の動きを良くご理解頂くために、第2例会へのご出席を(MUに限らず)お待ちしております。

編集後記 : 原稿は早々と頂戴しながら、今月もお届けが遅くなり申し訳なく思っています。

もう暫くしましたら、もう少しブルティンの方に時間をさける“筈”ですので、今少しご辛抱下さいますようお願いいたします。柴田健君に書いて頂くカット絵に加えブルティン担当の特権“独断と偏見”を以て、毎年沢山頂戴する中村隆幸君寄贈の未使用切手の中から、カットに出来そうなものを選んでみることにします。今月は子供の時大好きだった蒸気機関車と古い郵便車です。

皆さん方の中にも、幼かった頃憧れに似た感情を持たれた方もおられるのではと(勝手に決めて・・・)秋月生

— C S ・ T O F について —

1992年2月19日

「2月第1例会のために」

C S とは: Community Service (隣人奉仕)

国際の T O F 事業の区内推進と、区独自の C S 資金の募集・運用活動とを合わせ、日本区では C S 事業と呼んでいる。各クラブは、区の C S に参加するとともに、関係 Y M C A と協力してその地域社会の求めに応える奉仕の実践を心がける。従って、C S とは大は地球社会の、小は近隣社会の隣人への、心を込めた奉仕活動であるといえる。

- * 国際の事業への協力 ⇒ T O F (T O F 献金、ファミリーファースト、募心箱)
- * 日本区での事業への協力 ⇒ C S 資金 (アジア資金) への協力
(お年玉年賀はがき切手シート集め)
- * クラブ独自の事業 Y M C A との関わり (留学生エイド etc)
地域との関わり
独自の C S ファンド作り (じゃがいも販売 etc)

T O F とは: Time of Fast (断食の時)

世界の飢餓に苦しむ人々を覚えるため、ある月のクラブ例会の食事を抜きにしてその分の金額を国際に集め、その年度に定めた支援目標に捧げる奉仕活動。いわゆる途上国で民生向上のため苦闘している Y M C A を目標に選ぶことが多い。

- * 1985 - 1990: "Underprivileged Children" 「恵まれない子どもたち」

例えば

アフリカ/ケニア	職業訓練設備
インド	マヴェリカ Y M C A 少年の家
中東/レバノン	戦争被災児の為のキャンプ

- * 1991 - 1993: "Community Development & Family Involvement"

「家族ぐるみで地域開発」

例えば

アフリカ/ザンビア	カサマ Y M C A 養豚事業
インド/テイルヴァラ	家族中心の地域発展事業

C S 資金とは: もとアジア資金と呼ばれ、日本のワイズメンの貢献によって、アジアのワイズメンとの交流協力に役立てられきた資金。区 C S 事業の一つの柱として、国内外からの援助要請に応じて役立てられている。資金源はお年玉年賀はがきの年賀切手シート当選番号集めによってきたが、近年現金による寄与も加えるようになった。

- * 日本区内での援助事業: 例えば

「高槻まつり」(高槻クラブ)

「西 Y ヨットクラブ」(西クラブ)

[目標]

T O F : 1名 1,500 円

ファミリーファースト: 1名 10 円 x 365 日

C S : 1名 1,500 円

☆ ☆ TOFクイズ ☆ ☆

1. 世界中で何人の人が、慢性的に飢餓状態にあるでしょうか？
 - a. 100,000 人 c. 1,000,000 人 d. 500,000,000 人
 - b. 500,000 人 d. 100,000,000 人 e. 1,000,000,000 人
2. 世界中の _____ 人に1人が飢えに苦しんでいます。
 - a. 5 c. 12
 - b. 8 d. 15
3. 1年に4千万人の人が飢えまたは栄養失調で亡くなっています。その内の子どもが占める割合は？
 - a. 10 % b. 25 % c. 70 % d. 90 %
4. 最貧国40か国では、_____ %の人が安全な飲み水を得ることが出来ます。
 - a. 30 % b. 50 % c. 70 % d. 90 %
5. 栄養失調や予防可能な病気で人が死ぬ確立は、戦争で人の死ぬ確立の _____ にも及びます。
 - a. 11 % b. 22 % c. 33 % d. 44 %

"Community Development & Family Involvement" : 1981 - 1991 *

(英語版) (日本語版)

(アフリカ) (アジア)

(オセアニア) (中東)

(ヨーロッパ) (北米)

(南米) (オーストラリア)

(アフリカ) (アジア)

(オセアニア) (中東)

(ヨーロッパ) (北米)

(南米) (オーストラリア)